

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

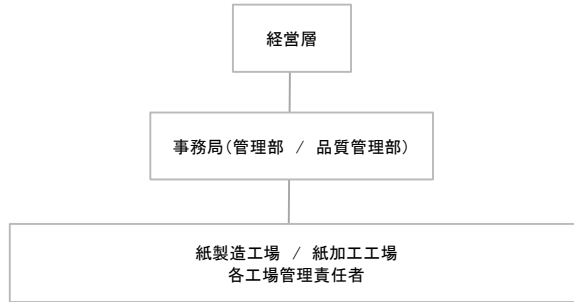
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 24日	
都道府県知事	
鈴木 康友 殿	
提出者	
住所	静岡県富士市今泉514-1
氏名	ニットク株式会社
代表取締役社長 井出 純一	
電話番号	0545-52-4123
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ニットク株式会社 本社工場
事業場の所在地	静岡県富士市今泉514-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	紙・紙加工製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 60億
③ 従業員数	190名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>graph LR; subgraph Inputs; direction TB; A[原材料]; B[水]; C[薬品]; D[副資材]; end; subgraph Process; direction TB; E[抄製造工程 紙加工工程]; end; subgraph Outputs; direction TB; F[金属くず]; G[廃プラスチック類]; H[廃油]; I[排水処理設備]; J[脱水汚泥]; end; subgraph Final; direction TB; K[処理委託]; L[再利用・埋め立て]; M[再利用]; N[再利用]; O[自社中間処理]; P[処理委託]; Q[再利用]; end; A --> E; B --> E; C --> E; D --> E; E --> F; E --> G; E --> H; E --> I; F -.-> K; F -.-> L; G -.-> M; H -.-> N; I --> O; O --> P; P --> Q;</pre>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ■汚泥(PS) 紙製造工程での原料回収率向上 ■廃プラスチック類 品種切り替え時・トラブル調整時のロス低減に努め、廃プラ処理量を低減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ■汚泥(PS) 紙製造工程での原料回収率向上 取り組み継続 ■廃プラスチック類 品種切り替え時・トラブル調整時のロス低減に努め、廃プラ処理量を低減 取り組み継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ■紙くず等を分別し、リサイクル強化 ■埋立ゴミより、乾電池・蛍光灯を分別、リサイクル処理化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記と同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ■ペーパースラッジ(脱水汚泥)の自社再利用の促進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ■ペーパースラッジ(脱水汚泥)の自社再利用の促進 取り組み継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ■脱水機の安定操業に努め、最低水分の安定・維持 取り組み継続			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
■ 損紙などの原材料としての自社再利用の推進 廃棄物原単位(廃棄物排出量÷総生産量)の削減			
■ ペーパースラッジ(脱水汚泥)の自社再利用の促進			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 損紙などの原材料としての自社再利用の推進 社内連携を強化し、廃棄物原単位(廃棄物排出量÷総生産量)の削減に努める。 ■ 紙製造工程での歩留向上に努め、汚泥排出量低減を図る。 		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

令和5年(2023年)実績・令和6年(2024)計画
(2023/4 - 2024/3)

		汚泥	廃プラスチック類	金属くず	廃油	TOTAL
① 排出量	現状	24919.000	501.200	5.278	1.490	25426.968
	計画	30000	400	3	2	30405
② 自ら直接再利用した量	現状	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	現状	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-
④ 自ら中間処理した量	現状	24919.000	-	-	-	24919.000
	計画	30000	-	-	-	30000
⑤ ④のうち熱回収を行った量	現状	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	現状	1246.000	-	-	-	1246.000
	計画	1500	-	-	-	1500
⑦ 自ら中間処理により減量した量	現状	23673.000	-	-	-	23673.000
	計画	28500	-	-	-	28500
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	現状	260	-	-	-	260.000
	計画	300	-	-	-	300.0
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投	現状	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	現状	986.210	501.2	5.278	1.49	1494.178
	計画	1499.800	400	3	2	1904.800
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	現状	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	現状	986.210	501.2	5.278	1.49	1494.178
	計画	1499.800	400	3	2	1904.800
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	現状	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う	現状	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-